

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 9 月 24 日 (2020.9.24)

【公表番号】特表 2019-529542 (P2019-529542A)

【公表日】令和 1 年 10 月 17 日 (2019.10.17)

【年通号数】公開・登録公報 2019-042

【出願番号】特願 2019-535225 (P2019-535225)

【国際特許分類】

C 0 7 F 7/12 (2006.01)

H 0 1 L 21/316 (2006.01)

H 0 1 L 21/318 (2006.01)

H 0 1 L 21/205 (2006.01)

C 2 3 C 16/42 (2006.01)

C 2 3 C 16/455 (2006.01)

C 0 7 F 7/10 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 F 7/12 W

H 0 1 L 21/316 X

H 0 1 L 21/318 B

H 0 1 L 21/205

C 2 3 C 16/42

C 2 3 C 16/455

C 0 7 F 7/10 C S P F

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 12 日 (2020.8.12)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1】

1 ～ 5 個のケイ素結合ビニル基及び 5 ～ 1 個のケイ素結合置換基からそれぞれ選択され、前記 5 ～ 1 個のケイ素結合置換基が、ケイ素結合塩素原子及びケイ素結合ジアルキルアミノ基から独立して選択される、6 個のケイ素結合置換基から独立してなる S i H 非含有ビニルジシラン化合物であり、ただし、ケイ素結合ビニル基が 1 個のみ存在する場合、少なくとも 1 個のケイ素結合ジアルキルアミノ基が存在する、S i H 非含有ビニルジシラン化合物。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 9】

1 ～ 5 個のケイ素結合ビニル基及び 5 ～ 1 個のケイ素結合置換基からそれぞれ選択され、前記 5 ～ 1 個のケイ素結合置換基が、ケイ素結合塩素原子及びケイ素結合ジアルキルアミノ基から独立して選択される、6 個のケイ素結合置換基から独立してなる S i H 非含有ビニルジシラン化合物であり、ただし、ケイ素結合ビニル基が 1 個のみ存在する場合、少なくとも 1 個のケイ素結合ジアルキルアミノ基が存在する、S i H 非含有ビニルジシラン

化合物の製造方法であって、1～6個のケイ素結合塩素原子及び5～0個のケイ素結合ジアルキルアミノ基から選択される6個のケイ素結合置換基から独立してなるSiH非含有クロロジシラン化合物を、1～5モル当量のビニルマグネシウムクロリド又は0.5～2.5モル当量のジビニルマグネシウムと接触させて、前記SiH非含有ビニルジシラン化合物を含む反応生成物を得ることを含む、製造方法。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0006

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0006】

態様1. 1～5個のケイ素結合ビニル基及び5～1個のケイ素結合置換基からそれぞれ選択され、前記5～1個のケイ素結合置換基が、ケイ素結合塩素原子及びケイ素結合ジアルキルアミノ基から独立して選択される、6個のケイ素結合置換基から独立してなるSiH非含有ビニルジシラン化合物であり、ただし、ケイ素結合ビニル基が1個のみ存在する場合、少なくとも1個のケイ素結合ジアルキルアミノ基が存在する、SiH非含有ビニルジシラン化合物。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0019

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0019】

態様14. ケイ素結合塩素原子及びケイ素結合ジアルキルアミノ基から独立して選択される、それぞれ、1～5個のケイ素結合ビニル基及び5～1個のケイ素結合置換基から選択される6個のケイ素結合置換基から独立してなるSiH非含有ビニルジシラン化合物であり、ただし、ケイ素結合ビニル基が1個のみ存在する場合、少なくとも1個のケイ素結合ジアルキルアミノ基が存在する、SiH非含有ビニルジシラン化合物の製造方法であって、1～6個のケイ素結合塩素原子及び5～0個のケイ素結合ジアルキルアミノ基から選択される6個のケイ素結合置換基から独立してなるSiH非含有クロロジシラン化合物を、1～5モル当量のビニルマグネシウムクロリド又は0.5～2.5モル当量のジビニルマグネシウムと接触させて、SiH非含有ビニルジシラン化合物を含む反応生成物を得ることを含む、製造方法。用語「SiH非含有クロロジシラン化合物」は、2個のケイ素原子及び6個のケイ素結合置換基からなり、そのうちの少なくとも1つはケイ素結合塩素原子である分子、又は独立して同じであるか若しくは異なる、そのような分子の集合を意味する。